

2019年度版

2019年度
国立科学博物館 大学パートナーシップ
入会のご案内



**Partnerships
with
Universities**



国立科学博物館



国立科学博物館のロゴマークのご紹介

「想像力の入口」

全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくようにも見えます。このように、このマークは人々に様々な想像を促します。



国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介

Partnership の頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するようお願いを込めています。

はじめに

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、文系・理系を問わずすべての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人類」をテーマとする地球館の展示を併せると、10,000㎡を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。

2015年7月には地球館の一部がリニューアルオープンし、幅広い年代の方々に自然や科学をより身近に感じる展示をお楽しみいただけるようになりました。2019年度の特別展・企画展では、「大哺乳類展2ーみんなの生き残り作戦」「ビーズー自然をつなぐ、世界をつなぐー」等を開催する予定です。

2005年度に21大学で始まった本事業は、2019年1月現在では70校にご入会頂き、2018年4月から12月までで、延べ約45,000人の学生の皆様にご利用頂きました。

2018年度に実施しました利用者アンケートでも、展示やパートナーシップ制度について多くの好評のご意見を頂きました。パートナーシップ制度の事業として開催している各種講座についても、多くの皆様にご参加頂き、パートナーシップ制度を十分活用頂けたものと考えています。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指して参ります。

2019年1月

独立行政法人 国立科学博物館



1. 連携事業のご紹介

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生のために、次の連携プログラムを用意いたします。

1 常設展の無料入館と特別展の620円引 ※



常設展

入会した大学等の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度でも入館（入園）頂けます。また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により常設展が無料となります。

国立科学博物館（上野公園）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20



展示面積は10,900㎡で、科学系博物館において国内最大規模を誇ります。良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、常設展示のメインメッセージである「自然との共存をめざして」を、体系的にわかりやすく伝えられるような展示構成を特徴としています。平成20年度には、日本館が重要文化財に指定されました。通常入館料:620円※

附属自然教育園（東京都港区）

〒108-0071 東京都港区白金台 5-21-5



大都市「東京」の中心部にあって今なお豊かな自然が残る、都会の中のおアシスともいえる貴重な森林緑地です。園内には、湿地帯の環境が保存されているため、多くの動植物を観察し、生態系について学ぶことができます。日曜観察会、植物生態学セミナー、自然観察基礎講座など、学習支援活動も行っています。通常入園料:310円※

筑波実験植物園（茨城県つくば市）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1



自然の景観と植物多様性を凝縮した約14万㎡の園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。収集保全している植物をもとに、世界の様々な植生環境を再現し、植物の形態や多様性を体験的に学習できるような展示植栽を行っています。各種学習支援活動も行っています。通常入園料:310円※

※通常入館（入園）料は2019年1月現在のものです。



企画展

日本館1階の「企画展示室」等にて開催する、当館の研究者が中心となって企画する展示です。常設展内の展示であり、パートナーシップ入会校の学生は無料でご覧頂けます。

2018年度 開催例

「沖縄の旧石器時代が熱い！」

2018年4月20日（金）～6月17日（日）

「標本づくりの技(ワザ) —職人たちが支える科博—」

2018年9月4日（火）～11月25日（日）

「砂丘に眠る弥生人 —山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀—」

2018年12月11日（火）～2019年3月24日（日）

「天皇陛下御即位三十年記念展示 天皇陛下の御研究と皇居の生きものたち」

2019年2月13日（水）～3月31日（日）



2019年度 今後の開催予定

「国立民族学博物館・国立科学博物館共同企画展 ビーズ—自然をつなぐ、世界をつなぐ—」

2019年4月9日（火）～6月16日（日）

「100年前の東京と植物 —プラントハンター ウィルソンの写真から—」

2019年4月13日（土）～6月16日（日）

「風景の科学展 芸術と科学の融合」

2019年9月10日（火）～12月1日（日）

「えほんが引き出す博物館の魅力」（仮称）

2019年12月17日（火）～2020年3月1日（日）



特別展

地球館の「特別展示室」にて開催される展示です。通常、特別展の入場料は1,600円程度ですが、パートナーシップ入会校の学生は、常設展の料金を差し引いた金額でご覧頂けます。

2018年度 開催例

「人体—神秘への挑戦—」

2018年3月13日（火）～6月17日（日）

「昆虫」

2018年7月13日（金）～10月8日（月・祝）

明治150年記念「日本を変えた千の技術博」

2018年10月30日（火）～2019年3月3日（日）



2019年度 今後の開催予定

「大哺乳類展2—みんなの生き残り作戦」

2019年3月21日（木・祝）～6月16日（日）

「恐竜博2019」

2019年7月13日（土）～10月14日（月・祝）

「ミイラ」（仮称）

2019年11月2日（土）～2020年2月24日（月・休）



2. 各種講座等の優先的受け入れと、受講料減額



サイエンスコミュニケーター養成実践講座

科学と社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座です。

・入会校の学生を優先的に受入れます。

・受講料通常 61,710 円のところ 30,860 円で受講頂けます。

※別途、講座で使用するテキスト代として2,000円程度がかかります。

□サイエンスコミュニケーション1(SC1):コミュニケーション能力の育成(7~8月:37コマ)

□サイエンスコミュニケーション2(SC2):コーディネーション能力の育成(10~12月:36コマ)

□SC1, SC2の両科目を修了すると「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与

※対象は大学院生です。 ※募集要項は4月頃に発表予定です。

※当講座を大学の教育課程に応じて大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

現在、講座の受講を大学の単位として認められるのは以下の3校です。

筑波大学大学院/SC1の受講で2単位。東京工芸大学大学院/SC1の受講で4単位。

東京農工大学大学院/各科目それぞれ2単位。

2018年度実施例



(SC1:ディスカバリートークの様子)



(SC2:対話型サイエンスイベントの様子)



大学生のための科学技術史講座

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり、様々な分野からアプローチする全6回程度の講座です。

・入会校の学生を優先的に受入れます。

・受講料通常 12,340 円のところ 6,170 円で受講頂けます。

※隔年で開講。2019年度は開講しません。

※当講座の出席状況をご報告することも可能です。授業の一環としてぜひご利用ください。

講義内容一覧 (2018年度)

- 【明治150年】日本のものづくり文化論
- 【明治150年】日本の近代建築
- 【明治150年】明治日本、西洋の科学技術と出会う
- 【明治150年】出土遺物から探る科学技術
- 【明治150年】アントロポシオン:現代社会と科学技術
- 【明治150年】過去から未来を考える





大学生のための自然史講座

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心に様々な分野からアプローチする全15回程度の講座です。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 30,860 円のところ 15,430 円で受講頂けます。

※隔年で開講。(2019年度は開講予定)。

※2019年度は5月より、第1・3金曜日に実施予定。募集要項は3月頃に発表の予定です。

※当講座を大学の教育課程に応じ大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

講義内容一覧から抜粋（2018年度）

- 自然博物館と普及活動
- 太陽系誕生から惑星の形成まで
- 日本列島はどのようにしてできたのか？
- 私達の祖先は古生代に遡る!?
- 海産無脊椎動物の多様性
- 多様性を生み出す原動力
- 菌類の生物学的多様性と文化
- 日本列島にやってきた人々
- 昆虫と人の関わり
- 自然史科学の研究者になるために



学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す方のために、調査研究・資料の収集保管について実習を行うコースと、学習支援活動について実習を行う2コースを設けています。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・実習料通常 10,290 円のところ 5,150 円で受講頂けます。

※応募時点で入会している大学が対象となります。

※教材費実費として2,000円程度を別途徴収します。

※対象は大学生または大学院生です。

※募集要項は、例年1月末～2月上旬頃に各大学宛にご案内しています。

実習風景一例



Aコース例：植物園内での野鳥観察



Bコース例：学習支援プログラムの実施



見学ガイダンス

大学のオリエンテーションや講義で国立科学博物館を利用してもらい、学生の皆様に博物館の楽しさや面白さ、見学方法を知ってもらうガイダンスを行っています。

・入会校のみご利用頂けます。

・別途料金等は必要ありません。(無料をご利用頂けます)

※ 随時、受付けています。

※ 実施は国立科学博物館上野本館の開館日となります。(8月はのぞく)

※ 原則として、平日のみの実施とします。

※ 実施は、各入会校につき年2回までです。

ガイダンスの内容例

- 展示の見どころ紹介
- 博物館の研究活動
- 国立科学博物館の概要
- 学習支援活動
- 展示解説について
- 新入生オリエンテーション



(新入生オリエンテーション)

3. お茶の水女子大学との連携事業

自然史に関する実習の機会をより広く提供するため、2016年度よりお茶の水女子大学との連携事業を開始しました。大学パートナーシップ加入校の学生の方の優先枠を設け、講座参加者を募集いたします。

募集対象： 国立・公立・私立大学の自然科学系に所属する大学院生
国立・公立・私立大学の生物学関連学科に所属する学部学生

募集人数： 10名程度 性別不問

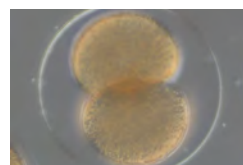
実施時期： 3月中旬頃を予定 5泊程度の宿泊を伴います。

実施場所： お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究センター（千葉県館山市香11）

費用： 宿泊費・食費で1万円程度。
実習場所までの交通費は自己負担となります。

講座内容： 海産動物の自然史学的研究法

1. 潮間帯の磯の動物採集，小型ドレッジ等による底生動物の採集観察
2. 研究用標本として保存するための手法，海産動物の多様性と系統分類の講義・実習
3. DNA情報を利用した動物の種同定の実習
4. プランクトン性の幼生のモデルとして，ウニの初期発生から五放射相称のウニ成体までの全生活史の観察
5. 複数の動物群の発生・幼生形態を観察しながら系統関係を考察する比較発生学



*講座内容については，変更の可能性があります。詳細はホームページ上の案内で確認してください。

※お茶の水女子大学の特別聴講生としての参加となります。お茶の水女子大学の「公開臨海実習（2単位）」を履修したことになります。

※学生教育研究災害保険（またはこれに相当する保険）への加入が必要です。



2 ご入会について

「国立科学博物館大学パートナーシップ」にご入会を希望される場合は、以下の項目をご確認の上、お手続きください。



申込み単位

大学、短期大学、専修学校(専門課程)及びそれらを設置する法人を単位とした申込となります。学部でのお申込についても、ご相談に応じます。



会員証

入会した大学・学校には、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行いたします。



入会期間

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行した日から2020年3月31日(火)までとします。



年会費

年会費は以下の表のとおりです。

学生数	1千人未満	1千人以上 2千人未満	2千人以上 5千人未満	5千人以上 1万人未満	1万人以上 5万人未満	5万人以上
	新規	154,290円	205,710円	257,140円	462,860円	925,710円
継続	133,710円	185,140円	236,570円	411,430円	822,860円	1,285,710円

※キャンパスの所在地が東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県以外の場合は、そのキャンパスに所属する学生数を2で除して得た人数(その人数に小数点以下の端数が生じたときは小数点以上に切り上げた人数)を学生数とします。

例) 東京上野キャンパス4,000人 + (沖縄キャンパス500人 ÷ 2) = 合計4,250人

※学生数には、大学院生、通信制課程、科目履修生等を含むことができます。

※学生数は、申込時直近の学校基本調査(文部科学省指定統計)に基づく在学者数とします。

※「継続」の会費は、入会月から起算して連続して2年以上ご入会頂いた場合の2年目のご入会から適用します。

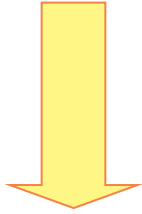
(2019年度は、2018年4月1日以前にご入会頂いた大学・学校が「継続」会費の対象となります)

※新規入会に限り、年度途中の入会にかかる当該年度末までの会費については別表の該当する年会費を12で除して得た額(その額に10円未満の端数が生じたときは10円に切り上げた額)に入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



申込み手順

申込の準備



入会を希望される大学・学校は、以下の該当書類をご準備頂くとともに、電話またはメールにて、下記連絡先まで入会希望の旨、ご連絡ください。
 ①入会申込書(別紙1) ②学生証の見本 ③学校基本調査(お申込み時直近のもの)の、在学者数が明記された部分の写し ④大学要覧・入学案内等(新規ご入会校のみ)
 ※①入会申込書は電子データ書式もお送りいたします。ご希望の際は、下記担当まで メールにて ご連絡ください。

申込書の送付



上記の①～④を申込み締切り日までに、下記の連絡先にご郵送ください。

会員証等の送付(5月頃)



当館で申込みを受理した後、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」と学生数に応じた年会費の「請求書」を各大学様宛にお送りします。

年会費のお振込み(5月～6月頃)

請求書に記載された年会費を、請求書の発行より 1ヶ月以内に当館指定の口座にお振込みください。



書類締切日

継続申込の場合 2019年4月8日(月)まで

- ※在学生の皆様に引き続き特典を利用頂くため、3月11日までに電話・メールで継続申込のご連絡を頂ければ、在学生は、4月1日から無料入館が可能です。
- ※年会費の振込時期等につきましては別途ご相談を承ります。

新規申込の場合 2019年3月15日(金)まで

- ※会員証が発行された日から学生の無料入館等が可能になります。
- ※入会を希望される大学は、早めのお申し込みをお奨めします。
- ※締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。



本件お問い合わせ先

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 独立行政法人国立科学博物館
 連携推進・学習センター 学習課 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当
 電話 03-5814-9876 FAX 03-5814-9898 E-mail upartner@kahaku.go.jp

* 当館ウェブサイト(<http://www.kahaku.go.jp>)でも、本制度を紹介しております。

利用者の声

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度により当館を利用された学生の方を対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数頂きました。その一例をご紹介します。

- 説明して下さったボランティアの方がとても親切で説明も分かりやすかった。恐竜の化石の展示が良かった。
(お茶の水女子大学 理学部 女性)
- 戦闘機・航空機の展示。今のものと比べると弱々しく見え、実際事故が多かっただろうと考えると、現在私が思っている「生きる」と当時の人のそれとは大きな差異があると感じた。
(慶應義塾大学 理工学部 男性)
- 気軽に入ることができるので、博物館等に興味を持つ良い機会になると思った。
(明治大学 法学部 男性)
- 日本に落下した隕石が印象に残った。自分の出身地にも落ちていた事を知り驚いたし、隕石が思っていたより大きくて驚いた。
(桜美林大学 芸術文化学群 女性)
- 内容が沢山でとても楽しかった。また来たい。ディスカバリートークで専門外の話をつつ研究者から聞けるのがとても良かった。
(早稲田大学 基幹理工学部 女性)
- 日々の勉強や研究、院試、就活などに忙しくなると、好き、楽しい、といった一番大切に根本となる気持ちを忘れてしまいがちだが、それがまた思い出せる良い展示だった。
(東京理科大学 理学部 女性)
- 単位の定義が変わるというタイムリーな話題が扱われており、面白く見させていただいた。
(東京大学 男性)
- 「標本づくりの技」の展示*が非常に興味深かった。講義で聞くのと、実際にものを見るのではかなり実感が違った。
(大正大学 文学部 女性)

※企画展「標本づくりの技(ワザ)―職人たちが支える科博―」 2018年9月4日～11月25日

※順番はアンケート提出の日付順

2018年度の利用者数は4月～12月で延べ45,000人を数えました。

上記の感想にみられるように、文系・理系を問わず多くの方からご好評を頂いております。

すべての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解頂き、ぜひともご入会をご検討下さいますようお願い申し上げます。

また、積極的利活用のために、貴学 HP, SNS, 学生便覧等でご紹介頂けましたら幸いです。

2019年度 国立科学博物館 大学パートナーシップ入会申込書

年 月 日

独立行政法人 国立科学博物館長 殿

国立科学博物館 大学パートナーシップに下記のとおり申し込みます。

フリガナ		
大学名・学校名		
フリガナ		
学長名・校長名		印
種 別 ※該当する口にチェックを入れてください	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 専修学校（専門課程）	
対象となる学生の区分	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 学部・本科 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 別科 <input type="checkbox"/> 科目等履修生・聴講生・研究生 <input type="checkbox"/> 通信生 <input type="checkbox"/> 夜間	
学 生 数	(1)東京都, 茨城県, 埼玉県, 千葉県, 神奈川県のキャンパスに所属する学生()人 (2)上記以外に所在するキャンパスに所属する学生()人 ※お手数ですが, (1)+(2)÷2を学生数の合計としてご記入ください。 合計 人(年 月 日現在)	
年 会 費	円	
事 務 担 当	所属部課	
	フリガナ	
	氏 名	
	所在地	〒
連 絡 先	TEL	FAX
	E-mail	
ホームページアドレス	※当館ホームページから大学パートナーシップ校としてリンクしてよければご記入下さい。 (または昨年度からの変更があればご記入ください)	
貴学のご利用数の報告ご希望	※メールで, 貴学のご利用状況をお知らせします。受け取られる頻度をご指定ください。 ①年度ごと ②月ごと ③その他() ④希望しない	
その他連絡先	※企画展・特別展, 各種講座等のご案内を別キャンパスなどに別途お送りしてよろしければ, ご記入下さい。	

この入会申込書に, 以下の3点を添えて国立科学博物館 連携推進・学習センター 学習課へ送付下さい。

- 1 学生証の見本(カラーコピー可) ※前年と変更がない場合はお送り頂く必要はございません。欄外にその旨, 付記下さい
- 2 学校基本調査(お申込時直近のもの)の, 在学者数が明記された部分の写し
※対象となる学生の区分(聴講生等)が全て明記されているもの
- 3 学校要覧・入学案内等 ※新規ご入会校のみ